

施策マネジメントシート

施策名	行政評価施策体系	いきいきとした産業のあるまち	施策統括課	産業振興課	氏名	三澤英和
政策名		まちをつかう	施策関係課			

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等
 ・市内の商店(卸、小売) ・市内の製造業、事業所
 ・市民 ・全国の優良企業

対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 市内の商工業者数	事業所
イ 人口	人
ウ	
エ	

意図(対象をどう変えるのか)
 ・事業を維持・発展している
 ・事業を新たに起こす
 ・市内で企業活動を新たにしてもらう
 ・市内を回遊し、まちがにぎわう

成果指標(意図の達成度の指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 商業の年間販売額	百万円
イ 工業の年間出荷額	百万円
ウ 市が誘致した延べ事業所数	事業所
エ 市内の新設事業所数(年間)	事業所
オ	

2 第2次基本計画期間(平成23~27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
魅力ある商店街づくり	空き店舗の活用をしていきます。イベントの開催が販売促進に結び付くよう促します。"くにたちらしさ"を活かした魅力ある商品開発を進めていきます。
中小企業の経営体力の強化	中小企業事業資金融資あっせん制度をさらにPRしていきます。
企業誘致の促進	まちづくり協力金・立地協力金・利子補給補助金などの奨励制度をさらにPRしていきます。
人がにぎわうまちづくり	起業しやすい環境づくりを推進します。地域資源を活かした回遊性のあるまちを推進します。
農工商、観光との連携	商品・サービス等の国立ブランド化を図ります。農工商、観光の多様な連携を進めるとともに積極的に情報発信し、地域の活性化を図ります。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

単位		数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
対象指標	ア 事業所	見込み値 実績値	2630(H18)	2630(H18)	2,820	2820(H21)	2820(H21)	2,640	2640(H24)	2640(H24)	2640(H24)	
	イ 人	見込み値 実績値	73,563	73,803	74,251	74,329	74,432	74,265	74,381	74,303	74,546	
	ウ	見込み値 実績値										
	エ	見込み値 実績値										
成果指標	ア 百万円	成り行き値					187,000		187,000		187,000	
		目標値					190,000		193,000		200,000	
		実績値	187,486(H19)	187,486(H19)	187,486(H19)	187,486(H19)	187,486(H19)	187,486(H19)	187,486(H19)	187,486(H19)	187,486(H19)	
			基本計画における 施策の目標設定の根拠		2011(平成23)年度以降は企業誘致や清化園跡地の活用などで地域経済活性化が期待できるものと見込み、目標値を設定しました。							
	イ 百万円	成り行き値							4,448		4,537	4,600
		目標値										
		実績値	6,800	5,419	4,361	3,762	5,937	3,465	3,729	3729(H25)	3729(H25)	
			基本計画における 施策の目標設定の根拠		現況の市場性や経済動向にも配慮すると共に事業者の新たな商品開発等積極的な事業展開を期待し、5年間で現状値の5%増を目標値に設定しました。							
	ウ 事業所	成り行き値					4	6	8	10	12	14
		目標値										
		実績値	0	0	2	4	8	11	13	13	13	
			基本計画における 施策の目標設定の根拠		土地の広さに見合った企業へのアプローチを積極的にを行い、2009(平成21)年度の実績ベースを今後も維持すると見込み、目標値を設定しました。							
エ 事業所	成り行き値										870	
	目標値											
	実績値	720(H18)	720(H18)	319	319(H21)	319(H21)	172	172(H24)	172(H24)	172(H24)		
		基本計画における 施策の目標設定の根拠		観光資源の掘り起こしによる他市からの来客数が増加することを見込み、5年間で10%程度のさらなる増を目指すこととしました。								
オ	成り行き値											
	目標値											
	実績値											
		基本計画における 施策の目標設定の根拠										
事務事業数		本数	11	11	12	12	12	18	18	11	12	
施策コスト	財源内訳	国庫支出金	千円								104	
		都道府県支出金	千円	13,461	11,107	11,326	14,467	13,232	10,155	11,221	19,840	25,725
		地方債	千円									
		その他	千円					67,010			910	3,000
		一般財源	千円	56,646	85,888	61,459	65,611	37,949	63,943	69,914	100,055	95,767
		事業費計(A)	千円	70,107	96,995	72,785	80,078	118,191	74,098	81,135	120,805	124,596
		延べ業務時間	時間	2,232	4,765	6,256	6,210	6,148	8,376	6,450	7,625	8,629
人件費	人件費計(B)	千円	8,556	15,114	16,688	16,735	20,240	24,270	20,832	28,230	33,611	
トータルコスト(A)+(B)		千円	78,663	112,109	89,473	96,813	138,431	98,368	101,967	149,035	158,207	

4 施策の現状

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?

平成27年においては、原油価格の下落による欧米の株式相場の不安定化がみられた。また中国をはじめとする新興国を中心とした海外経済の減速で世界経済の回復傾向が見えにくい状況があり、緩やかな回復途上とみられていた国内景気もその動向は予断を許さない状況となっている。また平成28年1月には日銀がマイナス金利政策を始め、経済の活性化を狙っており、今後の上向き効果が期待される。国内企業の倒産件数は7年連続で前年度比減という状況が続いている。有効求人倍率については25年ぶりの高水準となるなど、労働市場の需給がひっ迫している。

国立市内のトピックとしては、平成27年4月には、国立駅にnonowaEASTが完成し関連業種についての駅前の商業環境が大きく変わりつつある。事業者であるJR、商業者団体等と連携するため、くにたち活性化協議会が立ち上がり、協働事業の実施が進められている。また、周辺商業環境では、大型商業施設が近隣市において開業し、都内で広域的にショッピングセンターに影響が及んでいるとみられている。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

利害関係者から市内の商工業者は疲弊し活力がなくなっているとの意見がある。

アンケート調査では商店街には頑張してほしいとの声が多くあった。

議会からは、融資利用者の利便性や、中小企業等振興会議の効果的な運営などの要望があった。

5 27年度の評価結果

(1) 施策の取組状況

27年度行政経営方針	取組状況
国立を代表する大学通りを活用したイベントを関連する様々な方面の関係者等と協力・連携して展開していくとともに、イベントを通じて、まちの賑わい創出と地域の活性化に向けて取り組んでいく。	これまで継続実施してきた商店街振興施策である、各種補助事業の実施に加え、27年度の新事業として、大学通りを車両通行という機能だけではなく広場として使いまちの賑わいを創出するLINKくにたち、市内経済を活性化するためのプレミアム商品券(プレミアム分2割、発行総額6000万円)の発行、起業希望者を募り審査を実施し通過した事業者の起業を支援する起業支援事業の新設を行った。

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標目標値達成度(目標値と実績値との比較)	
成果指標ア 【 商業の年間販売額 】	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 (<input checked="" type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
成果指標イ 【 工業の年間出荷額 】	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 (<input checked="" type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
成果指標ウ 【 市が誘致した延べ事業所数 】	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 (<input checked="" type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
成果指標エ 【 市内の新設事業所数(年間) 】	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 (<input checked="" type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
成果指標オ 【 】	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
成果指標カ 【 】	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上) ~ E(かなり低下) C:成果はほとんど変わらない(横ばい状態)	
他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い) ~ E(かなり低い) C:他自治体と比べてほぼ同水準である	
背景として考えられること ア...指定企業の市内購買、フレスポ南の商業施設への来店者は多いが、既存商店等の売り上げは減少している。 イ...製造業の国外移転や購買意欲の低下による需要減 ウ...土地所有者と企業とのマッチングに効果はあったが、年度内中の指定には至らなかった。 エ...リーマンショック以降の景気低迷により起業環境が低下し、チェーン展開している店舗の進出が多い 企業誘致と清化園跡地活用による成果は高いが既存企業の活性化の遅れ 誘致企業数では成果が上がっているが商業振興全般では疲弊している	

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

これまで、商店街活性化等補助金や事業資金融資等を継続し実施してきたが、それに加え企業誘致事業、地域振興・観光促進事業を実施してきた。またイベント創出、起業支援等更なる新規事業に取り組んでおりそれぞれ成果を出している。

さらなる歳入増を図るためロケーション撮影による行政財産の使用料を定め徴収することができた。

指標の性格上、随時達成度を測ることが難しいため、正確な総括が難しいところではあるが、新たな事業を限られた資源の中で実施してきている。

6 施策の課題・今後の方向性

本施策の成果がどのように指標に反映されているか経済センサスの公表が待たれるところである。

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催、国立旧駅舎の再築および観光交流センターの設置等、益々観光促進による市内経済の活性化にとりくめる環境にあるため、業務改善、事業の見直し、人員の見直しに取り組み成果を出し続けていく必要がある。